

内藤建設(株)(建設業・岐阜市)

短時間正社員など、働きやすい会社づくりが多くの県外若者の入社につながる

- ・ 定期的な面談で各社員の状況を把握し、短時間正社員など個人の事情に合わせた柔軟な勤務時間を認める
- ・ DXの積極的な導入が、業務の効率化だけでなくリモートワーク導入にもつながる
- ・ 制度を利用しやすくするため、社内コミュニケーション促進に注力

昭和22年に創業し、工場やオフィスなど大型建物の建築だけでなく、地域に根差した「建設ドクター」として、改修やメンテナンスなどのアフターフォローまでをワンストップで行う内藤建設(株)。同社では、「社員が働きやすいように働いてもらう」という内藤宙社長ないとうひろしの方針の下、社員が働きやすい環境を追求しています。



女性社員も多く活躍

短時間正社員など、個人の事情に合わせた柔軟な勤務時間

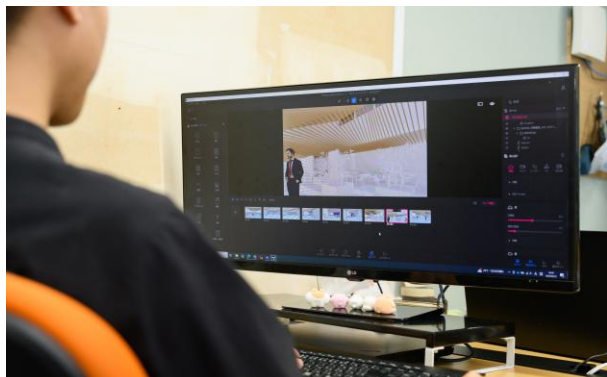
まず1つ目が、短時間正社員など個人の事情に合わせた勤務時間です。年2回のアンケートに加え、毎月1回の上司との面談、更に年3回、内藤社長が全社員と面談を行い、各社員の事情や要望を把握することに努めています。

それを踏まえ、育児や持病の治療など、各個人の事情に合わせた特別な勤務形態を認めています。例えば、遠方から通勤する子育て中の方には勤務時間を2時間短縮した6時間勤務を認めてきたほか、持病を抱えた社員については、正社員として働き続けられるよう、通院の都合に合わせた短時間勤務を認めてきました。

DXによる社内業務の効率化で、働きやすさも改善

2つ目が、DXによる社内業務の効率化です。従来紙ベースで行ってきた業務の大部分を電子化し、ペーパーレスにより多くの業務が完結できる仕組みを取り入れました。また、内部管理業務を中心に、生成AIを積極的に活用することで業務の効率化も併せて進めています。

これにより、残業時間が減少しただけでなく、リモートワークでも出勤時と同様に業務が完結できるようになり、専門的な技能を持つ子育て中の方や高齢者の方が、各自のライフスタイルや事情に合わせてフルリモートで働けるようになり、最大限に能力を発揮できるようになりました。



設計業務もリモートワークが可能に

加えて、長時間労働につながりやすい書類作成などの内部管理業務についても、現場業務から管理部門に切り分けた上でマニュアル化し、担当者の急な不在時も業務が継続できるよう、ペアで業務に当たる体制を構築しています。

制度を利用しやすくするため、社内コミュニケーションを促進

しかし、これらの制度を作っても利用されなければ、業務環境の改善にはつながりません。そこで力を入れているのが、「社内コミュニケーションの促進」です。社員同士、お互いの事情を知ることが、相互に理解し合い、制度を利用しやすい雰囲気づくりにもつながります。

そのため、従来、管理部門が担っていたDXや広報、採用などの業務を部門横断で構成するチーム制で実施したり、会社の経費で月に1回懇親会を開催するなど、社内のコミュニケーションを促進するための取組に注力しています。



部門を越えて相談しやすい雰囲気を醸成

その結果、取組前は残業が多く、有給休暇の取得を申し出るのも遠慮しがちな雰囲気がありました。が、社員間の相互理解が進み、有給休暇の取得促進のみならず、男性社員の積極的な育休取得にもつながっています。

働きやすさを売りに、県外の若者も惹きつける企業に

これらの取組を進めたことにより、働きやすさが売りになり、人手不足に悩む企業が多い建設業界において、同社は離職率が低い水準で安定し、新入社員も毎年、安定的に確保しているだけでなく、近年は、新入社員の半数以上が県外出身者です。

「今いる社員に長く働いてもらうことが、会社にとってもプラスになる」という内藤社長の思いは、県外の若者も惹きつける働きやすい会社を作り上げています。

【従業員の声】

子どもが未就学で自分自身も持病を抱えての転職でしたが、周囲の理解を得ながら、正社員としてフルタイムで働くことができています。社長との面談も含め、社内でコミュニケーションを取る機会が多く、仕事以外のことも含めてお互いに理解し合うことができるので、制度も利用しやすく、安心して働くことができています。

【内藤建設（株）】 (<https://naito-csc.jp/>)

所在地：岐阜市六条南3丁目12-11

従業員：106名（うち正社員99名、パート7名）

設立：昭和36年（創業：昭和22年）

（令和7年10月末時点）